

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みを通して、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

一般財団法人 あしなが育英会(兵庫地区)
《災害・病気等の遺児支援》

会長 玉井 義臣



災害、病気、自死などで親を亡くした子ども、親が障がいや働けない家庭の子どもを、物心両面で支える活動に国内外で取り組んでいます。「笑顔プラス」でのご支援に深く感謝申し上げます。

団法人ACジャパンの支援キャンペーンにて本会の広告が発信されています。

阪神淡路大震災をきっかけに「神戸レインボーハウス」で始めた遺児支援の「心のケア」活動は、2006年に東京へ、さらには東北へと広がりました。仙台・石巻・陸前高田の「東北レインボーハウス」では、約2千人の東日本大震災遺児を継続的に支援してきました。



東北での活動はコロナ禍で一時的に縮小しましたが、十分な感染防止対策を行ったうえで、心のケアプログラムを実施しています。小学生たちの声が響く一方、成人した遺児が家族を連れて来館するなど、震災から11年経ちライフスタイルの変化もあります。レインボーハウスがいつでも戻ることのできる場であり続けられるよう、これからも子どもたちに寄り添います。

メディアを通じた公共広告により、啓発活動を行っている公益社

NPO法人 奈良ストップ温暖化の会(奈良地区)
《環境保全・地域づくり》

理事長 当麻 潔



地球温暖化は確実に進行し、今や気候危機・気候非常事態と呼ばれる状況になっています。この対策として、日本をはじめ世界の国々がカーボンニュートラル(2050年温室効果ガス排出実質ゼロ)の目標を掲げ、対策を進めています。



この目標達成のため、私たちは脱炭素社会の実現をめざし行動する市民や事業者が一人・一社でも増えるよう、環境講座への講師派遣、環境啓発イベントの企画・出展、環境家計簿の推進や自然エネルギーの利用促進、マイカー抑制、子どもたちが楽しくエコを学ぶエコアイデアコンテストの企画実施、企業の脱炭素経営支援セミナー開催などの取組みを展開しています。

また4月22日アースデイ「地球の日」に合わせ、多くの団体と協働して「アースデイ奈良」を開催し、自然の中で地球環境について考える機会としています。今年もアースデイ奈良2023を4月22日(土)に奈良公園登大路園地にて開催予定です。



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。
 ※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。